

【中山間地域の活性化】

～ 県中地方におけるグリーン・ツーリズムの取り組み ～

1 取組趣旨

グリーン・ツーリズムの取組みが多様化している中で、都市部の小学生が農村地域に連泊し、農作業体験や自然体験を通じて農村地域の現状を見聞することで、子ども達に農林業や農村に関する理解を促進させるという学校教育活動が広がりつつある。

このような中で、子ども達に本地域の農林業や農村への興味・関心をもってもらうとともに、夏休みの楽しい思い出となるように、県内の小学生を対象とした「県中地方子ども農山村交流モニターツアー」を、天栄村と田村市常葉町の2コース開催した。

2 取組内容

(1) 天栄コース

実施団体；グリーンライフ天栄

実施日；7月28日～30日（2泊3日）

参加者；郡山市及び喜多方市の小学4，5年生7名

内容；

7月28日 夏野菜収穫体験および収穫した野菜の調理体験（バーベQ）

7月29日 イワナつかみ体験、竹細工（食器、風車、紙鉄砲・水鉄砲づくり）体験、餅つき体験

7月30日 ピザ作り体験、池での魚釣り体験



自分で作った竹の食器を使って食事をしました（天栄）



野菜収穫体験の様子（天栄）

(2) 田村コース

実施団体；ときめき山学校

実施日；8月8日～10日（2泊3日）

参加者；郡山市、福島市、田村市の小学4～6年生9名

内容；

8月8日 昆虫採集体験準備（捕獲仕掛けづくりとセッティング）、餅つき体験、夜の昆虫採集体験

8月9日 昆虫採集体験、イワナつかみ体験、川遊び体験、夏野菜収穫体験、夜のカブトムシ観察会

8月10日 早朝トレッキング、入水鍾乳洞探検



夜のカブトムシ観察会（田村）



イワなつかみ体験（田村）

3 国、地方公共団体等の施策支援との関わり

県：地域づくり総合支援事業（サポート事業）

4 取組みの効果

子どもたちだけの参加であったため、終了後保護者にアンケート調査を実施したところ、「普段させたくてもできない体験ができ、子どもも喜んでいた」「ひとまわり成長して帰ってきた」「自宅は農家だが子どもが農作業を体験することが少なく、良い経験となった」「また参加させたい」などの感想を得ることができ、参加した子どもたちにとって良い夏の思い出になったものと思われる。

一方、受入側にとっても実施態勢の整備や体験メニューの充実を図る意味で良い経験となり、次年度以降の活動に活かされるものと思われる。

5 現在の問題点及び今後の改善方向

当初、3コースで予定していたが、参加者が集まらず1コースが実施できなかった。モニターツアー実施にかかる周知期間が短かったことや開催時期等に原因があったものと思われるが、次年度以降の実施に向けて、さらに魅力あるツアーを開催するため、実施団体の資質向上が必要である。